



MLPP ドメインの設定

MLPP ドメインは、MLPP サブスクライバに関連付けられているデバイスとリソースの集合を指定したものです。あるドメインに属している MLPP サブスクライバが、同じドメインに属している他の MLPP サブスクライバに優先コールを発信した場合、MLPP サービスは、着側 MLPP サブスクライバの既存コールよりも優先順位の高いコールを優先処理することができます。MLPP サービスの機能は、ドメイン間では作用しません。

MLPP ドメインを追加、更新、および削除するには、次のトピックを参照してください。

- [MLPP ドメインの検索 \(P.20-2\)](#)
- [MLPP ドメインの設定 \(P.20-3\)](#)
- [MLPP ドメインの設定値 \(P.20-4\)](#)
- [MLPP ドメインの削除 \(P.20-5\)](#)

MLPP ドメインの検索

ネットワーク内にはいくつかの MLPP ドメインが存在することがあるので、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、固有の条件を指定して、特定の MLPP ドメインを見つけることができます。MLPP ドメインを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、MLPP ドメインの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、MLPP ドメインの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [システム] > [MLPP ドメイン] の順に選択します。

[MLPP ドメインの検索と一覧表示 (Find and List MLPP Domains)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、**ステップ 3** に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- ドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.20-5 の「関連項目」を参照してください。

MLPP ドメインの設定

Cisco Unified Communications Manager データベース内の MLPP ドメインを設定する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [システム] > [MLPP ドメイン] の順に選択します。

[MLPP ドメインの検索と一覧表示 (Find and List MLPP Domains)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 既存の MLPP ドメインをコピーするには、対象となる MLPP ドメインを見つけて (P.20-2 の「MLPP ドメインの検索」を参照)、コピーする MLPP ドメインの横にある [コピー] ボタンをクリックし、ステップ 3 に進みます。
- 新しい MLPP ドメインを追加するには、[新規追加] ボタンをクリックし、ステップ 3 に進みます。
- 既存の MLPP ドメインを更新するには、対象となる MLPP ドメインを見つけて (P.20-2 の「MLPP ドメインの検索」を参照)、ステップ 3 に進みます。

ステップ 3 表示される [MLPP ドメインの設定 (MLPP Domain Configuration)] ウィンドウで、該当する設定を入力または編集します (表 20-1 を参照)。

ステップ 4 [保存] をクリックして、新しい MLPP ドメインまたは更新した MLPP ドメインをデータベースに保存します。



追加情報

P.20-5 の「関連項目」を参照してください。

MLPP ドメインの設定値

表 20-1 では、MLPP ドメインの設定値について説明します。

表 20-1 MLPP ドメインの設定値

フィールド	説明
[MLPP ドメイン情報 (MLPP Domain Information)]	
[ドメイン名]	<p>新しい MLPP ドメインに割り当てる名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。MLPP ドメイン名はそれぞれ固有の名前にしてください。</p> <p> (注) デフォルト MLPP ドメインの名前は、<i>Default</i> です。<i>Default</i> ドメインは変更および削除できません。</p>
[ドメインID(Domain ID)]	<p>6 文字の固有 16 進 MLPP ドメイン ID を入力します。有効となる値は、数字 (0 ~ 9) とアルファベット (A ~ F) です。MLPP ドメイン ID は、それぞれ固有の値にしてください。</p> <p>ドメイン ID の範囲は、000001 ~ FFFFFFF にする必要があります (000000 は、デフォルトの MLPP ドメイン ID 用に予約されています)。</p> <p> (注) 値が 100000 未満の場合は、余白となる上位の桁に 0 を使用してください。</p>

追加情報

P.20-5 の「関連項目」を参照してください。

MLPP ドメインの削除

Cisco Unified Communications Manager データベースから MLPP ドメインを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

デバイスが使用している MLPP ドメインは削除できません。MLPP ドメインを使用しているデバイスを検索するには、[MLPP ドメインの設定 (MLPP Domain Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウンリスト ボックスにある [依存関係レコード] を選択し、[移動] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4](#) の「[依存関係レコードへのアクセス](#)」を参照してください。使用中の MLPP ドメインを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager からエラー メッセージが表示されます。現在使用されている MLPP ドメインを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除する MLPP ドメインを使用しているデバイスすべてに、別の MLPP ドメインを割り当てる。
- 削除する MLPP ドメインを使用しているデバイスを削除する。

手順

-
- ステップ 1** [P.20-2](#) の「[MLPP ドメインの検索](#)」の手順を使用して、MLPP ドメインを検索します。
 - ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する MLPP ドメインを選択します。
 - ステップ 3** [削除] をクリックします。
 - ステップ 4** 削除操作を確認するように求められたら、[OK] をクリックして削除します。削除操作を取り消す場合は、[キャンセル] をクリックしてください。
-

追加情報

[P.20-5](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [MLPP ドメインの検索 \(P.20-2\)](#)
- [MLPP ドメインの設定 \(P.20-3\)](#)
- [MLPP ドメインの設定値 \(P.20-4\)](#)
- [MLPP ドメインの削除 \(P.20-5\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Multilevel Precedence and Preemption」

